

## ◆◆◆ 気象振興協議会定期総会、開催される

平成21年7月30日(木)、竹橋安田ビル9階の四季交楽「然」で、気象振興協議会(会長:住 明正 東京大学教授)第9回総会が開催されました。

気象振興協議会は、気象情報等の有効利用のために会員相互の情報交換を行うとともに親睦を図り、気象事業等の振興を図ることを目的に、平成14年1月30日、それまで活動してきた気象事業振興協議会、気象庁配信データ利用者協議会及び産業気象利用者協議会が統合し発足しました。現在、会員数は40会員で、財団法人気象業務支援センターがその事務局を担当しております。

第9回総会では、平成20年度の事業報告・決算報告、平成21年度の事業計画・収支予算が審議され、いずれも原案どおり承認されました。平成21年度においては、20年度に引き続き、気象情報に関する技術情報の提供、会員相互の意見交換などを積極的に推進していくこととされております。

当日は、議事後、気象庁総務部企画課大林企画調整官から「気象業務の現状と課題」と題して、また、住会長から「今後の地球温暖化問題」と題して、記念講演が行われました。